

2009年7月3日
株式会社NHVコーポレーション

水処理用アンモニア吸着材を開発

日新電機株式会社（本社：京都市右京区、社長：天野嘉一）の100%出資会社である株式会社NHVコーポレーション（本社：京都市右京区、社長：星康久）は、水処理におけるアンモニア吸着に有効な吸着材を開発しました。地下水を用いた自家用水道においてアンモニア処理が問題となる水処理設備において、効力を発揮するものと期待されます。

地下水利用した自家用水道（専用水道）設備は、水道の使用量が多い病院、ホテルなどで導入されていますが、都市部の地下水は以前と比べて汚染が進んでおり、専用水道設備は通常の消毒だけでなく、地下水に含まれる汚染物質を除去する事も必要になっています。中でもアンモニアは除去が難しい物質であり、効率の良い除去技術が求められていました。

電子線照射装置製造および電子線受託加工サービスのトップメーカーであるNHVコーポレーションは、同社が保有する電子線グラフト重合技術を用いて、微小樹脂の表面にアンモニアを効率良く吸着する機能（官能基）を付与した吸着材の開発に成功しました。

従来、専用水道設備におけるアンモニア除去には、薬剤（次亜塩素酸ナトリウム）が使用されていましたが、2008年4月の水道水質基準における塩素酸規制により、この方法の適用が難しくなっています。これに代わるアンモニア処理技術として適用が期待されます。その特長は次の通りです。

- 1) 確実に吸着 吸着機能（官能基）が吸着材表面に集中しているため、アンモニアなど陽イオンを素早く、漏らすことなく、確実に吸着（漏れ量0.2ppm以下）できます。
- 2) 低コスト 吸着機能（官能基）が吸着材表面に集中しているため、吸着材の再生を少ない薬剤で短時間に行うことができ、ランニングコストを低く抑えることができます。
- 3) 長寿命 耐久性に優れており（寿命3年以上）、破損による補充の必要がありません。

この吸着材、および吸着材を充填した処理モジュールを、2009年7月より試験的に販売を開始いたします。

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社NHVコーポレーション 機能材料事業化推進グループ TEL: 075 (864) 8815
お問い合わせフォーム <http://www.nhv.jp/askme.html>